

## Takara standard

高い水準で仕事と子育ての両立支援に取り組む企業として  
「プラチナくるみん」認定

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタANDARD株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：小森大）は、次世代育成支援対策推進法に基づき、高い水準で仕事と子育ての両立支援に取り組む企業として、2025年2月10日付で厚生労働大臣より「プラチナくるみん」の認定を受けました。

タカラスタANDARDは、時間外労働削減や休暇取得、ダイバーシティ推進などに向けた取り組みが評価され、2017年に「くるみん」認定を受けました。その後も柔軟なキャリアや働き方を実現する制度設計や運用を続けており、2024年に発表した「タカラ中期経営計画2026」では人的資本への取り組みを掲げ、2026年度までに従業員満足度77%、女性管理職比率10%の達成を目指しています。



その達成に向けた取り組みとして以下の施策を実施した結果、認定基準を満たし、この度の「プラチナくるみん」認定となりました。

- ・株式会社ライフケアパートナーズが運営する、企業・パパママ従業員、企業主導型保育所をつないで「保活」を支える新しいWebマッチングサービス「子育てみらいコンシェルジュ」導入
- ・ユニ・チャーム株式会社と江崎グリコ株式会社が協働で男性の育児参画を推進する企業向け両親学級「みんなの育児研修」導入
- ・パパママのための有休奨励日設定
- ・育休開始後の賃金支給を暦日7日から稼働7日に変更
- ・子ども家庭庁「ベビーシッター利用割引券」の配布
- ・育児短時間勤務制度の利用期間を「子が小学校就学の始期に達するまで」から「子が中学校の始期に達するまで」に拡充
- ・女性が少なかった部門における女性の積極採用
- ・残業時間の削減、有休取得の促進、ノー残業デーやオンタイムを意識した働き方の推進
- ・在宅勤務制度の導入、時差出勤制度の拡充
- ・以前退職した社員を再雇用する「カムバック制度」の導入

タカラスタANDARDはこれからも、社員のエンゲージメントを高めることにより、さらなる成長と企業価値の向上を図り、より豊かな社会の実現を目指してまいります。

## &lt;タカラスタANDARDとは&gt;

1912年創業。「水まわりって、大切だから」をブランドメッセージに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業112年） / 売上高<連結>：2,347億円（2023年度） / 従業員数<連結>：6,616名（2024年3月末時点）]